

「第 10 回 世界水フォーラム」への参加について(報告)

5月18日から25日にインドネシア・バリで開催された「第 10 回 世界水フォーラム」において、大西市長が 6 つの会議に出席しましたので、ご報告します。

1 「第 10 回 世界水フォーラム」の概要

「世界水フォーラム」とは、各国元首・閣僚級をはじめ、政府機関、国際機関、企業、NPO 等、世界中の水関係者が一堂に会し、水と衛生に関わる様々な問題について議論する、世界最大の水の国際会議

■期 間：令和6年(2024年)5 月18日(土)～5月25日(土)

■開催地：インドネシア・バリ

■テーマ：Water for Shared Prosperity(繁栄を共有するための水)

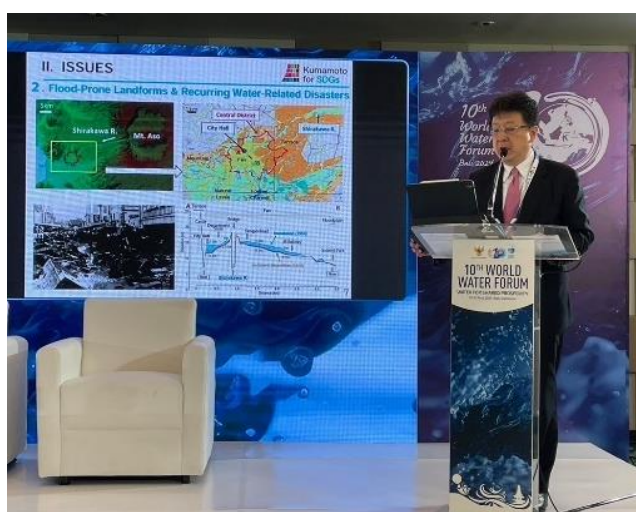
■主 催：世界水会議 (WWC)、インドネシア政府

2 会議等への出席状況

日程	会議名【主催】
5 月 20 日(月)	開会式
5 月 21 日(火)	ユースセッション 【日本水フォーラム(JWF)】
	バンドン・スピリット・ウォーター・サミット 【インドネシア政府】
5 月 22 日(水)	世界水フォーラム 地方自治体の日 【国連水会議】
5 月 23 日(木)	アジア・太平洋地域におけるスマートでレジリエントな都市とコミュニティの構築に関する国際ワークショップ:地方自治体の政策立案者とプランナーの役割 【国際連合地域開発センター(UNCRD)】
	Water by All 【国土交通省】
5 月 24 日(金)	水災害リスクを軽減するために必要な資金・ガバナンス・能力開発・制度の最善化 【水と災害ハイレベルパネル(HELP)】 【水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)】

3 各セッションの様子

各セッションでは、国内外から高い評価をいただいている本市の地下水保全の取組と「第4回アジア・太平洋水サミット」の成果、そして「熊本市」の名を、大西市長が世界に向けて発信した。



4 総括

○各国の首脳・閣僚級が一堂に会する「世界水フォーラム」という世界最大の国際会議で、6つの会議に出席する機会を得た。

○「熊本市の市民協働による地下水保全・水関連災害リスクの軽減に向けた取組は、世界が学ぶべき事例」として高い評価をいただいた。

○今後も、様々な機会を捉え、「世界一の地下水都市」として本市の地下水保全の取組を世界に発信することで、本市の国内外での認知度向上はもとより、世界の水問題解決に貢献していく。